

平成30年9月6日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日 時	平成30年9月6日(木) 午後3時00分
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後3時37分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	雁 部 隆 治
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	後 藤 隆 宏
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	宮 本 知 幸
学 務 課 長	西 村 克 己
指 導 室 長	横 山 圭 介
すみだ教育研究所長	石 原 恵 美
地域教育支援課長	石 岡 克 己
ひきふね図書館長	高 村 弘 晃

2 議題について

(1) 議決事項

第1 議案第34号 平成31年度墨田区立小・中学校募集人数について

(2) 報告事項

第1 平成30年度墨田区立図書館・コミュニティ会館図書室・すみだ女性センター
情報コーナーの蔵書点検実施報告について(資料1)

3 会議の概要について

教育長 教育委員会を開会します。本日の会議録署名人は、浅松委員にお願いします。

議決事項第1・・・資料P1～2

議案第34号 「平成31年度墨田区立小・中学校募集人数について」を上程し、学務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、ご質疑、ご意見はありますか。

坂根委員 学校案内は就学年齢の児童のいる家庭に送付するということですね。

学務課長 はい、そうです。

坂根委員 例えば外国人の方へ漢字の振り仮名がないのですが、どのように対応していますか。

学務課長 外国語の対応は、現状ではできておりません。

坂根委員 では何かわからない場合や、このように来てほしいといったことは別途お知らせするのですか。

学務課長 はい。

坂根委員 その場合に、例えば別紙で1枚、こういうことがわからない場合には来てほしいというものをつけて送ることは可能でしょうか。対象になる方がわかるかどうかはわかりませんが。

学務課長 9月21日号の区報で、外国籍の方の入学手続の案内について平仮名でルビを振っています。外国人の方で入学手続がわからない方は教育委員会学務課にお電話くださいという内容も掲載しております。

坂根委員 区報は見る方と見ない方がいます。新聞には区報は入ってきますが新聞をとっていない方もいます。そうした場合、コミュニティ会館や区役所や図書館などに行かないと手に入りません。最初からきちんとお知らせをすればいろいろ問題が起こらなくなりますので、その辺をもう少しよく考えていただければと思います。

学務課長 今も職員が発送の封筒詰めをしておりますして、今すぐ対応できるかはわかりません。

坂根委員 まだ時間はありますので別にその後でも。

浅松委員 関連して質問です。各学校の主な行事の中に、年に1回、道徳授業地区公開講座を必ず入れるようにという東京都の政策がありますよね。小学校はもう道徳科にな

りましたが、道徳科授業地区公開講座という呼び方は道徳科授業というようにはしないのでしょうか。すでに教科化しているので、道徳科というような名称に今後になっていくのか、何か情報はありますか。

指導室長 現時点では名称変更の情報はありません。道徳授業地区公開講座については、これまで東京都教育委員会が全区立学校で行うということで進めてきたものですが、今のご指摘を東京都の担当者にも確認し、既に小学校においては教科化されていることから、もし変更されるようでしたら対応していきたいと思います。

阿部委員 小学校に関しては、隣接の範囲で選択できるという制約が付きましたが、これについて意見や要望は出ていませんか。

学務課長 4月から今までの間に、そういった声はいただいておりません。

教育長 それでは、議案第34号は原案どおり決定することにしたいと思いますが、ご異議ありますか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 それでは、原案どおり決定することにします。

報告事項第1・・・資料P3

「平成30年度墨田区立図書館・コミュニティ会館図書室・すみだ女性センター情報コーナーの蔵書点検実施報告について」、ひきふね図書館長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はありますか。

坂根委員 資料P3の3の不明資料内訳について、BDS設置は平成25年4月とありますが、これは女性センターにはないのですか。

ひきふね図書館長 女性センターにはありません。

坂根委員 では、それは除くとか書いておいた方がよいのではないのでしょうか。

ひきふね図書館長 申し訳ございません。おっしゃるとおりです。

雁部委員 同じく不明の資料についてですが、これは貸し出したものが戻ってこない分も含まれるのですか。

ひきふね図書館長 貸し出し中の図書についてはそもそも対象から除いておりますので、現在図書館内の書架にある資料を対象に調査・点検をしております。

雁部委員 BDSについては、どちらかというと万引き防止のために設置する感じなの

で、不明になるということは、あまり効果がないという捉え方もできますね。

ひきふね図書館長 実際の検査は蔵書のＩＣタグをセンサーで読み取るという手作業を、何十万冊の本すべてにいたしますので、そういう手順の中に多少不明本が出てくる要因もあるかと考えられます。

坂根委員 女性センターにはＢＤＳはありませんが、不明１回が０で、２回が２と、パーセンテージとしては多くないわけですね。

ひきふね図書館長 墨田区は平均して、かなり低い水準です。

坂根委員 ２５年に全館設置していますが、する前との比較はいかがでしょうか。

ひきふね図書館長 資料を見る限りでは、１０分の１に減っています。

阿部委員 どうやってそのシステムをすり抜けるのでしょうか。

ひきふね図書館長 ＢＤＳは本の中にＩＣタグが入っていて、それを電波で感知します。詳細はわかりません。

阿部委員 そういう知識を持った人がいるということですか。

ひきふね図書館長 不明ということは不正な持ち出しなのかどうか、そこを含めて不明です。

次長 不明になった事実はわかりませんが、何で不明になったのかということまでは分析の領域を出ません。いろんな可能性があると思いますが、なるべく管理上のミスは減らしていかななくてはならないと思っております。あわせて、不正持ち出しも、さまざまなツールを使い、極力なくすように努力したいと思っております。

雁部委員 各図書館の出入り口などには防犯カメラはついていますか。

ひきふね図書館長 防犯カメラは設置しております。

雁部委員 もう少し防犯カメラを増やすとか、看板を見やすくすると効果があるかもしれません。

ひきふね図書館長 はい。防犯カメラを設置していますという貼り紙は、防犯カメラの設置場所、または館内の死角になるような場所には貼り出しております。

その他

雁部委員 先日９月１日に、小梅小学校防災訓練を見学してきました、子どもたちは大変落ちついて、先生方も迅速に対応されていたと思います。終わった後に校長先生と少

し話をしまして、この間ハザードマップも出たところですが、水害に対する防災訓練はやっていないようでした。水害が起こると1階は全部使えなくなるので、備蓄倉庫が1階にある学校はアウトになってしまいます。そしてもし水害で子どもたちが逃げ遅れたりすると、校庭ではなく屋上のような上に逃げる形になるので、水害を想定した避難訓練も1回やってみた方がよいのではないかと思いました。

指導室長 引き取りの形の防災訓練はおおむね地震を想定したものとなっておりますが、東日本大震災で津波の大きな被害があったことから、津波や洪水を想定した校舎への避難訓練は、各学校、月1回の避難訓練計画の中に織り込んで実施しています。

雁部委員 それから全く別件ですが、小梅小が体育館の床を改修してきれいになっていました。床から高さ2メートルぐらいの周りも全部きれいになっていましたが、そこから屋根までが、昔のまま残っていました。周りがきれいになって、汚い部分だけ残って逆に目立っていました。理由を聞いたら、「それは予算に入っていないと言われた」と校長先生が言っていました。半端なので、そこへ色を塗るとか、そこまでやってもらいたいなと思いました。

庶務課長 今回は応急処置の工事として実施しました。内容は、床にささくれがあり怪我の可能性があるので、壁は従来ベニヤ板を釘で止めていましたがこれも危険ということで、工事をしたところです。今後状況を確認しながら検討していきたいと思います。

坂根委員 私も9月1日に防災訓練の視察に参りました。先日の総合教育会議でも申し上げ、今の雁部委員の話にもありましたが、子どもたちは本当に一生懸命やっています。ただ、2年生は前年もやっているのよいのですが、1年生は9月1日より前のできるだけ早い時期にやった方がよいのではないかという話を校長先生としました。引き取りも兼ねて、保護者の方にも必ず全員に来てもらうことを考えると、一番よいのは皆さんがいらっしゃる入学式ではないでしょうか。入学式で防災訓練というのも難しいでしょうが、入学に当たって保護者の方にも、何かあったときにどのように帰るか、一緒に帰りながら道筋を確認してもらうなど、1年生だけにはもう少し早い時点で防災訓練をすることが必要ではないかと話し合ってきました。

指導室長 坂根委員のご指摘のとおり、特に1年生について、4月から7月までの1学期の間に起きる可能性もありますので、そういうご意見があったことを、それから、年間の避難訓練や防災計画等の見直しを、学校でも現実に即して進めるようにという働きかけはしていきたいと思います。1年生につきましては、引き取りという形ではござ

いませんが、年度初めに方面別・地域別で、教員が引率して通学路の安全状況の確認や道路の渡り方などの指導をしながら集団下校するという機会を設けています。そのようなところで、子どもたちの登下校の安全意識を高めていけるかと考えています。

坂根委員 それは全校でやっているのですか。

指導室長 はい、基本的にすべての小学校です。1年生は、最初は給食まで完全には実施しないので、早い時間に帰ることになります。その時期に、全校で方面別の集団下校をしております。

坂根委員 何月ごろですか。

指導室長 4月当初です。

浅松委員 私も9月3日の月曜日に東吾嬬小学校で引き渡し訓練を視察しました。東日本大震災が起きた折には、私も当時校長でしたが、引き渡しは本人確認が非常に困難でした。友人を名乗る場合や、何々ちゃんのお母さんは働いているので代わりに私が来ましたという場合は、引き渡しませんでした。今回の東吾嬬小学校では、引き渡しカードを持っている者でも、もう一度子どもに対してお母さんでよいですよという確認をしており、すごく大事だなと感じました。いろんな事情で身内でない方が来る場合もあるでしょうし、ある程度小さい子には担当が細かく表情を見ながら本人確認をして引き渡すという、きめ細かいことをやっているところもありました。

阿部委員 私は業平小学校の見学をしてきました。引き取りはほとんどの保護者が来て、21名だけ集団下校になりましたが極めてスムーズでした。ただ、それはあらかじめわかっているからであり、実際に地震が起きた時には教員も被災者ですし、保護者も被災者なので、すぐに来られないと思います。先日の総合教育会議でも話しましたが、いつでも必ず保護者が来て引き継げるような状態にいるのはまず例外的なことだと思うので、墨田区のアプリなどで安全でいるかどうかの連絡をとれる体制を作っておく、そういう方法や策をとるべきだと思います。それから、被災すると近隣から多くの避難者が学校に集まってくるので、避難者を受け入れる上での応急対策を学校も準備しないと、現場は混乱してしまうと思います。それなので、毎年同じような引き取り訓練だけではなく、少し違った観点からの訓練もした方がよいのではないかという話を校長としました。

次長 引き取り訓練が中心になりますが、避難所の開設を想定した訓練については、防災拠点会議をやっていますので、基本的にその中で地域と学校側の確認作業をしているはずで、実地的な要素となると地域によって違うので、行政としてもどこまで関与す

るか、これからの課題とさせていただければと思います。

阿部委員 例えば、東日本大震災の時に帰宅困難者が誤った情報をもとに錦糸小学校に現れ、とりあえず受け入れたという話を聞いています。想定していない人が学校に立ち入ることもあるので、やはり緊急な対応も学校で事前に調整しておいた方がよいのかと思います。

次長 東日本大震災の時の学校は、帰宅困難者を受け入れるという本部の決定のもとにやっていますが、情報伝達が徹底していない部分があったため混乱したという記憶があります。基本は地域の方の避難所であり、帰宅困難者についてはほかの区立施設などが想定されていますが、情報に混乱が生じたのでそれを反省材料にしてどうするかは現在検討しております。

雁部委員 先日の防災拠点会議でその話が出ました。要は、混乱を避けるために分けたのです。ただ、3.11の時、橋を渡って最初に見えるのが学校なので、みんなそこへ来てしまったため大変混乱しました。だから、混乱を回避するために分けたと言いますが、結局外部の人はそのことを知りませんから、災害が起きた際に大きな看板をすぐに出すなどして帰宅困難者を案内する用意をしておかないといけないと思います。

坂根委員 日本語がわかるとも限りませんし。

次長 避難所には災对本部の救護部から人員が配置され、そこを中心に運営することになっています。災对本部を運営する防災担当にもその懸念について伝えておきます。

坂根委員 学校の教室ごとに、何かあった場合にはこの教室はどこの町会が使用するということが決まっています。それは地域を大切にしているということでもわかります。そうしますと、例えば体の不自由な方はここにとか、車いすの方はここにというような、そういう方々への部屋のスペースについて、学校と関係が出来ていればよいですが、機械的にここはどこの町会が使用するというようになっていて、しっかりと学校側との話し合いがなされてないと伺いました。そのへんについてはどうなのでしょう。

次長 避難所が開設されたときに要配慮者救護部が本部に別にあり、ルール上は部屋なども別にすることになっています。ただ、どこまでルール化しているかは現場によります。

坂根委員 墨田区の地域コミュニケーション力はよいと思いますが、学校も地域もそれぞれがなかなか遠慮して言えないところもあるのではないかと思います。

次長 坂根委員の懸念について、災对本部や防災担当に伝え、運営上きちんと現場の方

で話していきたいと思います。

坂根委員 なぜこういった話をするかといいますと、防災拠点会議に出る方は地域のことを良く知っている方達ですが、しかし弱者の方が来ているわけでもなく、女性の視点も少ないかもしれません。そういう意味で、もう少し視点を広げて考える必要があるのではないかと思います。

雁部委員 今、防災拠点会議でもそういう話をしています。

坂根委員 それともう一点、これも校長と話し合ったのですが、緊急時の対応はよくやっているとありますが、教育機関ですからその後の学校の再開は速やかにしなければいけません。一応のマニュアルはあると思いますが、そこはどうなっていますか。

次長 各学校では学校防災計画というものを作っておりまして、地域との避難協力や子どもに対する防災関係の協力など、応急教育計画の方針は作っています。ただ災害の程度によって被害者の数や学校の被害状況も変わりますので、あくまで大きな方針のようなものとして作っていて、あとは災害の状況に応じ、調整や具体的な細部を作っていくことになっています。

坂根委員 次長のおっしゃることもわかります。どういう状態になるかわかりませんが細かいところまで決めても実行できない場合もありますし、具体的にはなかなか言えないと思います。

指導室長 大きな地震等の災害が起きた時、一時的には大量の避難者が学校に来るかと思います。基本的には体育館と特別教室が前提になると思いますが、一般教室も含めて受け入れなければならないこともあると思います。ただ避難から数日経った後は徐々に帰宅するか、あるいは別のところに移られる方も出て、各避難所の人数は徐々に減っていくと思います。そのなかで、まずは子どもたちが日常的に使う学級教室を空けて、体育館と特別教室に避難者を移していき、少なくとも学級教室を使えるようにして子どもの昼間の学習活動を行えるようにしていきます。このような形で教育活動再開の計画としております。

教育長 では、これで教育委員会を閉会します。